

## 「G 空間 EXPO2014」における国土地理院主催イベントの概要について

「G 空間 EXPO2014」は、平成 26 年 11 月 13 日（木）～15 日（土）に、日本科学未来館で開催します。前回（平成 25 年 11 月）の開催時には、約 1 万 8 千人の来場者数を記録するなど、地理空間情報に関して産学官が結集する最大規模のイベントであり、国土地理院は、以下のとおり各種イベントを実施します。

また、「G 空間 EXPO2014」で実施するイベントは全て入場無料となっております。（日本科学未来館の常設展示は有料となっております。）

### **1. Geo アクティビティフェスタ**

地理空間情報の活用に関する独創的なアイデア、ユニークな製品、画期的な技術、新たなサービス等を対象に全国から公募を行い、選考により 20 の団体・個人のプレゼンターを決定しました。選ばれたプレゼンターは、1 階コミュニケーションロビーで 3 日間作品展示を行い、14 日（金）に 7 階イノベーションホールでプレゼンテーション（1 人 13 分）を行います。優秀なアイデアについては、最終日 15 日にメインステージで国土地理院長から表彰されます。さらに今年は、来場者の皆様による投票結果で受賞作品を決定する「来場者賞」が新たに設けられました。是非、皆様の投票をお願いします。なお、投票は 13～14 日の 2 日間です。プレゼンターが提案する新しい取組やアイデアを直に見ていただき、「G 空間情報で変わる未来のヒント」を発見して下さい。また、作品内容についてプレゼンターから直接説明を聞くことが出来ますので、プレゼンターとの交流や、さらにはビジネスチャンスにもつながるかもしれません。展示やプレゼンテーションを行うことにより、関係者間の交流を図り、G 空間情報の活用の促進及び拡大を目指します。

【開催日時】 11 月 13 日（木）～15 日（土）10 時～17 時

【展示会場】 1 階コミュニケーションロビー

【プレゼン会場】 7 階イノベーションホール

【問い合わせ先】 国土地理院企画部地理空間情報企画室 Tel : 029-864-2056（直通）

### **2. 電子国土表彰式及び受賞作品紹介**

国土地理院が提供する電子国土基本図等の国土地理院のデータを活用している、GIS ソフトウェアや GIS コンテンツの中から、優れたものを『電子国土賞 2014』として表彰するとともに、広く紹介し、品質の高いアプリケーションの開発・普及を促進します。

【開催日時】（表彰式） 11 月 13 日（木）12 時 20 分～13 時 10 分

（作品紹介） 11 月 13 日（木）～15 日（土）10 時～17 時

【会場】（表彰式） 1 階シンボルゾーンメインステージ

（作品紹介） 1 階企画展示ゾーン（地理空間情報フォーラム ブース番号 41）

【問い合わせ先】 国土地理院企画部技術管理課 Tel : 029-864-8281（直通）

### **3. 【国土地理院施策展示】**

1階シンボルゾーンのテーマ展示エリア及び、1階企画展示ゾーンの地理空間情報フォーラム展示ブースの2箇所で、国土地理院の施策を紹介する展示を行います。

〔テーマ展示〕

正確な位置情報を提供するとともに地理空間情報サービスの発展及び安全・安心に貢献している電子基準点について、模型（1/3スケール）、映像等で解りやすく紹介します。

〔ブース展示〕

国土地理院は、国民が安全・安心・豊かな生活を営むことが出来るための環境整備として「G空間社会」の推進に積極的に取り組んでいます。「地理院地図」、「電子国土基本図」をメインに「地理院地図3D」、「携帯端末を用いた防災アプリ」などを身近に感じてもらえるように、映像・デモ等で解りやすく紹介します。

【開催日時】11月13日（木）～15日（土）10時～17時

【会場】〔テーマ展示〕1階シンボルゾーン テーマ展示エリア

〔ブース展示〕1階企画展示ゾーン（地理空間情報フォーラム ブース番号41）

【問い合わせ先】国土地理院企画部地理空間情報企画室 Tel：029-864-6257（直通）

### **4. 【講演・シンポジウム】**

#### **（1）場所に結び付ける新たな位置情報サービスへの展望—場所情報コードの位置情報サービスへの応用に関する共同研究成果報告—**

国土地理院では、測位技術の高度化と位置情報サービスの普及を背景に、場所情報コードの位置情報サービスへの適用を図っています。場所情報コードには様々な情報を関連づけることが可能であり、防災、観光、物流、自立移動支援などの多様な分野への応用が期待されます。本報告会では、平成25年11月から平成27年3月まで実施する「場所情報コードの位置情報サービスへの応用に関する共同研究」について、（1）場所情報コードを用いた屋内外ナビゲーションに関する研究、（2）場所情報コードの公物管理への応用に関する研究、（3）場所情報コードの運用に関する検討及び効果検証、を主要なテーマとして、各共同研究者から中間成果を報告します。

（登壇者）

藍原雅一（学校法人 自治医科大学）

北原敏夫（株）リプロ

猿谷享子（国土地図（株））

瀬戸口忠（株）トミス

曾根田馨（株）カクマル

竹内明香（株）パスコ

田中隆（エル・エス・アイジャパン（株））

谷川原誠（株）日立産機システム

峯岸康史（ユーシーテクノロジー（株））

土井弘充（国土地理院）

※敬称略 50音順（国土地理院を除く）

【開催日時】11月13日（木）10時20分～12時30分

【会場】7階 会議室1

【問い合わせ先】国土地理院測地部 Tel：029-864-4805（直通）

## **(2) 高精度測位社会における3次元地理空間情報**

準天頂衛星の4基体制、マルチGNSS、ICTの進展などにより、地上における自分の位置を高精度で誰でもリアルタイムで簡単に把握することが可能な高精度測位社会が実現しようとしています。一方、人の移動空間は地上に限らず、立体交差や多層構造、地下街や駅などの公共的屋内空間など3次元的に多岐にわたりますが、これら空間における測位環境や地図の整備は進んでいません。本シンポジウムでは、昨年のG空間EXPOにおける3次元地理空間情報シンポジウムの議論とその後の進展を踏まえ、高精度測位社会において求められる屋内測位環境や3次元地図などの3次元地理空間情報について現状を整理し、今後の方向性について議論します。

(登壇者)

柴崎亮介 (東京大学空間情報科学研究センター)

小林三昭 (ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)ICT事業本部)

太田恒平 ((株)ナビタイムジャパン)

越塚 登 (東京大学大学院情報学環、YRP ユビキタスネットワークング研究所)

坂下哲也 ((一財)日本情報経済社会推進協会)

中島秀敏 (国土地理院地理地殻活動研究センター)

※敬称略 登壇順 (国土地理院を除く)

【開催日時】11月14日(金)10時30分～12時30分

【会場】7階 会議室1

【問い合わせ先】 国土地理院地理地殻活動研究センター地理情報解析研究室

Tel : 029-864-6470(直通), 029-864-5942(直通)

## **(3) 防災とG空間情報～役立つ防災アプリ展～**

近年、G空間情報を活用した、スマホやタブレットといったモバイル端末で利用可能な、防災や減災、迅速な災害対応、安心安全な避難誘導等に役立つアプリケーションの開発・利用が数多く行われるようになってきました。国土地理院は、水管理・国土保全局とともに、内閣府の協力を得て、防災地図共用データベースの整備・活用により、民間における様々な防災アプリケーション(以下、「防災アプリ」)の開発が効率化、高信頼化、普遍化を図りながら促進することで、国民への防災情報提供の充実につなげていくことを目指しています。

本年4月に災害時の避難誘導等に資するG空間情報を活用した防災アプリの公募を行い、7月及び10月に開催された外部有識者等による審査委員会において、それぞれの時点で特に優れた機能を持つ複数の防災アプリを選定しました。本イベントでは、審査委員会において選定されたこれらの防災アプリの展示及び開発者によるデモ等の紹介を行います。

【開催日時】11月14日(金)10時30分～12時30分

【会場】7階 会議室2

【出展アプリ】(五十音順)

ARハザードスコープ®ONLINE (株式会社キャドセンター)

家族向け安否確認システム Familoca (株式会社つなぐネットコミュニケーションズ)

goo 防災アプリ (NTT レゾナント株式会社)

全国避難所ガイド Ver5 (ファーストメディア株式会社)

避難所案内 (ESRI ジャパン株式会社)

防災セーフティマップ (徳田 貴司 (個人))

LifeLine 防災システム (LifeLine 防災システム プロジェクトチーム)

【問い合わせ先】 国土地理院応用地理部 Tel : 029-864-6269 (直通)